

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年3月12日～3月18日)

平成 27 年(2015 年)3 月 20 日

H E A D L I N E S

政治

コモロフスキ大統領, ヨハニス・ルーマニア大統領と会談
 コパチ首相, ヴァルス仏首相と会談
 スヘティナ外相, 「V4+NB8」外相会合に出席
 コパチ首相, ロヴェーン・スウェーデン首相と会談
 スヘティナ外相, EU外務理事会に出席
 チュニジアでのテロ事件に対するポーランド政府の対応

経済

ポーランド経済にはさらなるイノベーションが必要－コモロフスキ大統領
 2月のインフレ率は－1.6%
 2月の平均賃金上昇率は3.2%
 2月の鉱工業生産は更に増加
 アルセロールミタル, クラクフでの鉄鋼生産終了を検討
 ワルシャワは中東欧におけるオフィス市場をリード
 電子書籍市場が成長
 ポーランドのガス埋蔵量が増加

大使館からのお知らせ

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治
外交・安全保障

コモロフスキ大統領、ヨハニス・ルーマニア大統領と会談【12日】

12日、コモロフスキ大統領は、ワルシャワを訪問中のヨハニス・ルーマニア大統領と会談を行い、二国間関係、NATO東方諸国の安全保障の強化、ウクライナ情勢等につき意見交換した。コモロフスキ大統領は、会談後に、ポーランドとルーマニアとの戦略的パートナーシップは、欧州の当該地域の情勢及び安全保障環境の悪化を考慮すると不可欠なものである旨述べた。

コパチ首相、ヴァルス仏首相と会談【12日】

12日、コパチ首相はワルシャワにてヴァルス仏首相と会談を行い、エネルギー同盟を始めとする欧州の経済アジェンダ、二国間経済関係の活性化のための方策、安全保障問題、ウクライナ紛争を中心に意見交換した。

スヘティナ外相、「V4+NB8」外相会合に出席【13日】

13日、スヘティナ外相は、スロバキアで開催されたV4諸国（ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー）とNB8（北欧・バルト8カ国）との外相会合に出席し、エネルギー安全保障及びウクライナ東部情勢等につき意見交換した。

コパチ首相、ロヴェーン・スウェーデン首相と会談【16日】

16日、コパチ首相はワルシャワにてロヴェーン・

スウェーデン首相と会談を行った。コパチ首相は、会談後に、今次会談は両国の戦略的な関係を確認するものであった、ポーランドは東方政策、安全保障問題、エネルギー政策、バルト海地域協力等の幅広い分野においてスウェーデンとの協力を発展させていく旨述べた。

スヘティナ外相、EU外務理事会に出席【16日】

16日、スヘティナ外相はブリュッセルで開催されたEU外務理事会に出席した。同理事会では、アフリカ情勢及びEU・アフリカ関係、東方パートナーシップ等につき意見交換が行われた。スヘティナ外相は、同理事会後、本年5月の東方パートナーシップ首脳会合を失敗に終わらせてはならず、EUは同パートナーシップ対象国（ウクライナ、モルドバ、グルジア、ベラルーシ、アゼルバイジャン、アルメニア）に対して魅力的かつ真剣な提案を行う必要がある旨述べた。

チュニジアでのテロ事件に対するポーランド政府の対応【18日】

18日にチュニジアにて発生したテロ事件でポーランド人が犠牲となったことを受けて、同日、ポーランド政府は政府危機管理チーム会合を開催する等の対応を行うと同時に、コモロフスキ大統領とエセブシ・チュニジア大統領、コパチ首相とエシード・チュニジア首相との電話会談を行った。19日時点のポーランド人の被害は死者2名、行方不明者1名、負傷者10名となっている。

経 済
経済・財政政策

ポーランド経済にはさらなるイノベーションが必要ーコモロフスキ大統領【13日】

コモロフスキ大統領は、訪問先のジェシュフ大学での講演の中で、ポーランド経済の国際的な競争力を高めるためにイノベーションが最も重要であると強調し、そのためにイノベーション強化に向けた法案に署

名したことを紹介した。この法案では、イノベーションを進める企業に対する税制優遇措置を盛り込んでいるという。大統領は、今後10年間でEUにおけるイノベーションの進んだ国としての地位を向上させる必要があると述べている。

マクロ経済動向・統計

2月のインフレ率は-1.6%【13日】

中央統計局(GUS)によると、2月の消費者物価指数(CPI)は、前年同月比で1月の同-1.4%から低下した-1.6%となった。前月比では-0.1%の低下。燃料価格の下落が著しく、ガソリン価格は前月の-15.5%から-17.6%まで低下した。更に2月は酒類やタバコ等の嗜好品の価格も低下し始めている。また、コア・インフレ率も、2月は前月の0.

6%から0.4%に低下している。

2月の平均賃金上昇率は3.2%【17日】

中央統計局(GUS)によると、2月の平均賃金は、前年同月比で3.2%増となる3,981.75ズロチであった。また、2月は企業の雇用者数も、前年同月比で1.2%増、前月比では同水準となる5,572,600人となっている。

2月の鉱工業生産は更に増加【18日】

中央統計局(GUS)によると、2月の鉱工業生産は、前年同月比で1月の同1.7%増から更に増加した4.9%増となっている。分野別では、製薬の生産増加が特に大きく同18.9%増で、電化製品も同16.

0%増と好調。他方、石炭は同16.5%減少している。前月比では、1月の同-3.1%減から3.1%増に増加しており、季節調整後の数値は、前年同月比で4.7%増、前月比で0.7%増。

ポーランド産業動向

アルセロールミタル、クラクフでの鉄鋼生産終了を検討【13日】

アルセロールミタル・ポーランドは、クラクフでの鉄鋼生産終了を検討しているという。EUの環境規制に適合させるための投資が多額に上ることが原因であるという。同社によれば、現在政府とも協議をしているという。仮に生産を終了する場合、1,500人の雇用の処遇等が問題となる。

以上となる80万平方メートルを建設中となっている。空室率は数パーセントとされているが、他の欧州の都市と同様に今後空室率が上昇する可能性も指摘されている。

電子書籍市場が成長【16日】

Biblioteka Analizによれば、2014年のポーランドの電子書籍市場の規模は6000万ズロチ。同社によれば、現在、33,000タイトルが販売されているという。2015年は、新しい電子書籍販売サイトや電子書籍の購入層が増えていることを背景にさらに25%の成長が見込まれるという。一方、紙の書籍については、2014年は24.8億ズロチの規模であったが、これは前年比7.4%の減少であった。

ワルシャワは中東欧におけるオフィス市場をリード【13日】

ワルシャワのオフィス床面積は440万平方メートルと、プラハやブダペストの300万平方メートルを上回り、この分野で他の中東欧の都市を大きくリードしている。また、現在ワルシャワ市内では他の都市の倍

エネルギー・環境

ポーランドのガス埋蔵量が増加【17日】

ポーランド地質研究所によると、ポーランド国内3カ所のタイトガス(砂岩層に貯留されているガス)埋蔵量は1.53~1.99兆立方メートルと推定されている。このうち、商業規模での抽出が可能なのは、1,

530~2,000億立方メートルであると考えられている。環境省ブロジンスキ次官は、この結果は将来有望なものであると述べる一方、ガスの抽出には多大な投資とリスクを伴うと述べている。

大使館からのお知らせ

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp,

住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

〔開催中〕 ロジカル・エモーション—日本現代美術展【～4月26日(日)】

クラクフ市にて、クラクフ現代美術館主催による『ロジカル・エモーション—日本現代美術展』が開催中です。13名の日本人アーティスト、建築家、デザイナーによる絵画、彫刻、インスタレーション、写真、映像、デザイン、工芸、漫画、建築等様々なジャンルの作品が展示されています。

開催場所：クラクフ、クラクフ現代美術館、ul. Lipowa 4

詳細：<http://www.mocak.pl/logiczna-emocja-wspolczesna-sztuka-japonska>

〔開催中〕 ポーランドの日本美術傑作展【～5月18日(月)】

クラクフ市にて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の東海道五十三次浮世絵をはじめとする浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘るジャンルの日本美術品が展示されています。

開催場所：クラクフ、日本美術技術博物館 Manggha、ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/exhibition/26>

〔予定〕 日本語 弁論大会【3月21日(土) 12:30～16:30】

ワルシャワ大学旧図書館講堂にて、第36回日本語弁論大会が開催されます。ポーランド人日本語学習者による素晴らしいスピーチを是非聞きにおいでください。大会後、懇親会も予定されています。(入場無料)

開催場所：Old Library (Stary BUW) University of Warsaw, ul. Krakowskie Przedmiescie

詳細：http://www.pl.emb-japan.go.jp/kultura/j_benron2015.pdf

〔予定〕 国際武道基金ポーランドカップ【3月21日(土)】

ウッチ市にてスレイ・ノ・モン基金主催による国際武道基金ポーランドカップが開催されます。

開催場所：ウッチ市、Obiekt Sportowy MOSiR, ul. Małachowskiego 5/7

詳細：<https://www.facebook.com/events/1544656445810748/>

〔予定〕 講演会「靴を脱ぎましょう！」【3月23日(月) 17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、ピスコルスカ千恵氏による講演会『靴を脱ぎましょう！』が開催されます。入場無料。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22 584 73 00, Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

〔予定〕 日本文学・文化についてのパネルディスカッション【3月24日(火) 17:00～】

トルン市にてニコラウス・コペルニクス大学主催による日本文学・文化についてのパネルディスカッションが開催されます。

開催場所：トルン市、現代美術センター、ul. Waly gen. Sikorskiego 13

〔予定〕 水曜映画上映会「ALWAYS 三丁目の夕日」【3月25日(水)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「ALWAYS 三丁目の夕日」が開催されます(日本語音声、英語字幕)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22 584 73 00, Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

〔予定〕 きょうの『世界』に耳をすます【3月28日(土)、29日(日) 午後5時開演】

ワルシャワにて、Fundacja Sztuki Marebito主催にてチェスワフ・ミウォシュ『世界 ポエマ・ナイヴネ』(原題：„Świat, poema naiwne”)朗読の夕べ～ポーランド語原詩と邦訳詩による～を開催します。

開催場所：Muzeum Azji i Pacyfiku, ul. Solec 24, 入場無料

詳細：<http://posluchajswiata.com/jp>

【予定】パフォーマンス「ヒロシマ・サロン」の開催【4月12日 19:30～】

ワルシャワの Teatr Powszechny im. Zygmunta Hübnera にて、ドイツ在住の俳優、原サチコさんが出演するパフォーマンス「ヒロシマ・サロン」が開催されます。

広島への原爆投下と福島での原発事故の二つの悲惨な出来事をテーマとしています。

開催場所： Teatr Powszechny im. Zygmunta Hübnera

ul. Jana Zamoyskiego 20, 03-801 Warszawa

詳細：

http://www.powszechny.com/spektakle/hiroshima-salon,s664.html?ref_page=controller,index,action,repertuar

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

news@mail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)